

2024年 前期の特別講座

1. 聖書に一回しか使われない語の解釈法 (ἀπαξ λεγόμενα)

聖書ヘブライ語には、1回しか用いられない単語が2400語以上あると考えられています。この単語数も数え方次第ですから異論もありますが、かなり多くの語が聖書中に1回しか使われていないことになります。

この数字から、聖書に登場する単語や表現は、聖書時代に使われていたヘブライ語の一部分しか示していないという事実が浮かび上がってきます。言語における単語の意味は、複数の用例を比較しながら決定し、必要に応じて語源を観察しつつ推測されますが、用例の比較ができない語の意味をどのように決定してきたのか、聖書の古代訳やヘブライ語辞典はどのように対処してきたのかを学んでみたいと思います。

2024年2月26日、3月4日(月曜日) 全2回

時 間: 18時45分～20時30分 定員10名(Zoom 配信あり)

受講料: 8,000円(都度参加 1回4,000円)

2. 聖書ヘブライ語文法 重箱の隅講座(3)

聖書ヘブライ語には、結合ダゲシュ (Conjunctive Dagesh) と呼ばれる強ダゲシュでもない、弱ダゲシュでもないダゲシュが存在します。今回は重箱の隅講座の第3回目として、結合ダゲシュの発生理由を学び、注意していないと見逃してしまう細かな音韻規則を学びます。

2024年3月13日(水曜日)

時 間: 18時45分～20時30分

受講料: 4,000円

定員10名(Zoom 配信あり)

3. 聖書ヘブライ語動詞の יִקְטֹל יִקְטְלוּ について (再)

聖書ヘブライ語の動詞には YIQTOL 複数形の語尾にヌンが付加された特殊な形がたびたび使われます。このヌンにどのような意味があるのか、語尾にヌンが付加されるようになった歴史を学びながら、この用法を考えていきます。このテーマの特別講座は2020年6月に実施されましたが、今回はその時に参加できなかった方々のために開催いたします。もちろん参加は自由です。

2024年3月27日(水曜日)

時間: 18時45分~20時30分

受講料: 4,000円 教室での定員は10名、Zoom 配信もいたします。

4. 誓約文の特徴 (申し込み受付中)

聖書物語の物語文には、登場人物が神様や人間に向かって誓約・誓願をする場面が時々あります。その時には、ふだんのヘブライ語用法とは違って、独特な語法が用いられます。この講座では誓約文の種類、ヘブライ語語法の特徴、用例の見つけ方を詳しく学びます。

5月1日(水曜日) 18時45分~20時30分

受講料: 4,000円 教室での定員は10名、Zoom 配信もいたします。

5. 聖書ヘブライ語のケレーとケティヴ (申し込み受付中)

聖書ヘブライ語原文には、ケレー (קָרִי) やケティヴ (כְּתִיב) というアラム語の名称で呼ばれる表記の問題があります。場合によっては、どちらの指示にしたがって読むべきなのか判断に困ることもあります。この講座では、ケレーやケティヴはなぜ生まれたのか、どのような種類があるのか、参考にすべきなのか、無視してもよいのかを含めて、その特徴を詳しく学びます。

6月12日、26日(水曜日) 18時45分~20時30分

受講料: 8,000円

教室での定員は10名、Zoom 配信もいたします。

聖書原典特訓・雅歌1章（申し込み受付中）

聖書原典をヘブライ語で読むためには、次のような参考文献を使うのが基本とされています。

テキスト **BHS**：BIBLIA HEBRAICA STUTTGARTENSIA

辞典 **BDB**：A Hebrew and English Lexicon of the Old Testament, OXFORD, F. Brown – S.R. Driver – C.A. Briggs, Oxford 1902

HALOT（The Hebrew & Aramaic Lexicon of the Old Testament）

文法書 A. E. Cowley, **Gesenius' Hebrew Grammar**, edited and enlarged by E. Kautzsch, Oxford, 1910

P. Joüon, **A Grammar of Biblical Hebrew**, Translated by Takamitsu Muraoka, EDITRICE PONTIFICIO INSTITUTO BIBLICO, ROMA, 1993

しかしこれらの参考文献を揃えても、これらを自力で使いこなせるようになるためには相当な困難を要します。それは、これらの参考書にはそれぞれの編集年代における聖書本文学、聖書学、ヘブライ言語学・セム語学の傾向や考え方がベースとなって編集されていて、それを理解する必要があるからです。

この講座では、受講者全員が **BHS** のヘブライ語原文を見つつ、原文のどこに着眼するのか、**BHS** はどのように使うのか（アパトス[脚注]、小マソラー符号、**BHS** の長点と欠点）、辞典の引き方、文法書のチェック方法などを実際に参考文献の同じページを開きつつ検討しながら学ぶ講座です。テキストは雅歌1章を学びます。

レニングラード写本、『旧約聖書ヘブル語大辞典』、**BDB**、**HALOT**、各種聖書ヘブライ語文法書は教室に備えられていますので、受講希望者は **BHS** を各自ご用意ください。

月1回 月曜日 18:45-20:30

定員5名（Zoom 配信なし）

受講料 全5回 20,000円（都度参加1回 4,000円）

2024年6月10日、7月8日、8月26日、9月30日、10月28日

過去に実施された特別講座

講座によっては資料が残されているものもありますので、興味がある方はご相談ください。

聖書ヘブライ語辞典の使い方

代表的な聖書ヘブライ語辞典の使い方とそれぞれの辞典の特徴を学びます。聖書ヘブライ語辞典の編集方針と項目の構成、付随情報の意味と意図、使用する際の着眼点について演習を通して学んでいく講座です。扱う辞典は 『旧約聖書ヘブル語大辞典』、『BDB』、『HALOT (The Hebrew & Aramaic Lexicon of the Old Testament)』 の3冊です。

2023年2月1日、2月15日、3月1日、3月15日(水曜日)

時 間： 18時45分～20時30分

受講料： 16,000円(都度参加4,000円)

教室での定員は8名、Zoom 配信もいたします。

聖書ヘブライ語文法 重箱の隅講座(1)

聖書ヘブライ語には、母音符号に付随して各種の細かな符号が付いています。特にメテグ(ガアヤー)と呼ばれ語の母音符号に付く縦線メテグについては、文法書にも十分な説明は見当たりません。この符号の意味と付加目的をきちんと学び、もやもやした気分を解消することを目標としています。

2023年4月3日(月曜日)

時 間： 18時45分～20時30分

受講料： 4,000円

教室での定員は8名、Zoom 配信もいたします。

聖書ヘブライ語文法 重箱の隅講座（2）

聖書ヘブライ語には、ナソグ・アホール（נסוג אהול）と呼ばれるアクセント移動の法則があります。なぜアクセントが突然移動してしまうのか。その理由を学び、注意していないと見逃してしまう細かな音韻規則を学びます。

2023年5月15日（月曜日）

時間：18時45分～20時30分

受講料：4,000円

教室での定員は8名、Zoom 配信もいたします。

聖書本文の成立と受容

聖書原典はいくつもの経路をたどって成立し、受け入れられてきました。この講座では本文成立の歴史を学び、古代訳との関係を学びます。

2023年10月30日、11月13日（月曜日）

時間：18時45分～20時30分

受講料：8,000円

聖書ヘブライ語 アル禁止形とロー禁止形

聖書ヘブライ語で使われている אל תקטל と לא תקטל の違いについて学びます。意味に違いがあるのか、文学ジャンルに関係があるのか。その発展史について。

2021年5月19日、6月2日（水曜日）

時間：18時45分～20時30分（全2回）

受講料：10,000円

後期聖書ヘブライ語入門

聖書ヘブライ語のバビロン捕囚以前のヘブライ語とバビロン捕囚後のヘブライ語にはあきらかな違いがあります。この講座ではヘブライ語変化の特徴、アラム語とペルシア語の影響、聖書ヘブライ語と死海文書のヘブライ語の比較などを通して、言語特徴を学びます。

2021年水曜日(夜) 18時45分～20時30分(全3回)

受講料: 15,000円

聖書詩文の詩文テクニク入門

詩編や箴言、ヨブ記、預言書の一部は散文ではなく、詩文で書かれています。詩文であるため、様々な詩文テクニクが使われていますが、その文学的テクニクが理解できていないと、解釈を間違えて詩人の意図を汲み取れないこととなります。今回は文学テクニクの中でも、押韻、頭韻、平行法、対語を中心に学びます。

2019年3月18日(月) 18時30分～21時

受講料: 5,000円(テキスト代込)

聖書ヘブライ語構文「名詞文(動詞なし文)」

聖書ヘブライ語の名詞文(動詞なし文・分詞も含む)を、読んで解釈する練習をします。練習問題をいくつもこなしていく過程で、聖書ヘブライ語における名詞文の特徴が見えるようになります。本当に読める人を育てるためのコースです。

2019年 3月12日、3月19日、3月26日

受講料: 15,000円(テキスト代込)

時間: 18時45分～20時30分

その他、以下のテーマで特別講座を実施してまいりました。
もし復活希望の講座がありましたら、お知らせください。

タアマー・ハミクラー(聖書朗唱法入門・トーラー)

トーラーの原文にメロディーをつけての朗唱練習

聖書ヘブライ語 シェワー(シェヴァ)の歴史

母音表記(ニクード法)

WAYYIQTOL の用法

聖書ヘブライ語 人称代名詞の歴史と特徴

聖書ヘブライ語 不定詞の用法

聖書ヘブライ語 分詞の用法

聖書ヘブライ語の命令形

聖書詩文入門

小マソラー入門

レニングラード写本入門